

「私たちには『生まれ変わった自民党』をしっかりと示さなければならぬ」と岸田文雄・自民党新総裁は公選勝利後のあいさつで訴えました。しかし、岸田氏の党員人事は、安倍晋三前首相側近の人物が起用され、安倍傀儡（かれいらい）人事そのものです。

近の人物が起用され、安倍傀儡（かれいらい）人事そのものです。

改憲推進・疑惑解明に背

“安倍傀儡”人事そのもの

幹事長に選ばれた甘利明税
調会長は、安倍政権でアベノ
ミクス、環太平洋連携協定
(TPP) の推進で中心的役
割を果たした人物。安倍氏と
麻生太郎副総理兼財務相に近
いとされ、安倍・麻生・甘利
政調会長には総裁選で安倍
氏が全面支援した高市早苗節
總務相を起用。内閣人事でも
安倍側近の一人、松野博一元
文部科学相の官房長官への起

きた人物。高市氏は総裁選の討論会で改憲の必要性を主張し、「(憲法)審査会の回数を増やすなければいけない」などと述べています。岸田氏も総裁任期中の改憲実現を明言しておらず、強力な改憲シフトにも所属するなど、靖国派の一員です。高市氏は同懇談会の中心メンバーの一人で、選択的夫婦別姓反対の急先鋒（せんぽう）でもあります。

また甘利氏は安倍政権下の2016年、金錢授受・あつ

「一歩も戻りていらない」などと責任逃れの無責任な弁解しかしていません。安倍・菅政権下で相次いだ「政治」と力ネの問題や疑惑の解明にも背を向ける人事です。

「私たちには『生まれ変わった』頭文字から「3A」と称される盟友関係です。副総裁」は、麻生氏が就任。甘利幹事長・岸田文雄・白川新総裁は、総裁選勝利後のあいわたりで、麻生副総裁体制はまさに安倍の側近として、憲法の発改憲4項目の推進を担ったのです。

せん利得疑惑で閣僚を辞任。その後も疑惑についての十分な説明責任は果たしていません。加えて、19年参院選での河井克行・案里夫妻の大規模買収事件に関わって、当時、「ハト派」とされる左近会長の岸田氏ですが、安保法制定にもとづいて「台頭有事」での軍事対応に言及し、改憲推進の「日本会議国會議員懇談会」となります。